

北海道企業の6割超が後継者不在

EO Hokkaido

2026年10月6日

PRESS RELEASE

報道関係各位

創業者

VS

事業承継者

どちらが“茨の道”か 本音で語るトークセッションを 11月6日(金)EZOHUB SAPPOROにて開催

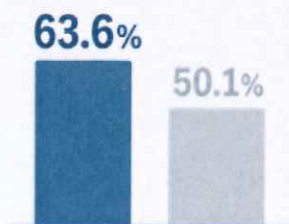
一般社団法人EO Hokkaidoは、創業者と事業承継者によるトークセッション「創業者 VS 事業承継者 どちらが茨の道か、決着」を11月6日(金)にEZOHUB SAPPOROにて開催します。北海道で経営の第一線に立つ創業者2名と事業承継者2名が、成功談だけでなく、失敗やプレッシャー、組織づくり、先代との関係、経営者としての覚悟を本音で語り合うトークセッションです。

北海道企業の6割が後継者不足

今回のイベントの背景には、北海道が抱える「事業承継」の地域課題があります。帝国データバンク札幌支店の動向調査(2025年)によりますと、北海道内企業の後継者不在率は63.6%と、全国の後継者不在率50.1%と比較すると、依然として高い水準にあります。特に、事業承継が現実的な課題となってくる50代経営者でも75.5%が後継者不在という結果が出ています。どれだけ良い会社、良い商品、良い技術があったとしても、それを次の世代へ引き継ぐ人がいなければ、企業そのものが地域から失われる可能性があります。だからこそ今、「誰が会社を継ぐのか」だけではなく、「継いだ人が、どう会社を成長させていくのか」まで考える必要があります。今回は、両者があえて「VS」の形で向き合い、実体験を本音で語り合い、起業や事業承継を考える人、会社の残し方に悩む経営者に、自分なりの「経営者になる道」を考えるきっかけを届けます。



北海道の企業
後継者不在率(2025年)



北海道 全国
後継者不在率の比較
(2025年)



50代経営者の
後継者不在率



後継者がいないと
地域の雇用・技術・つながりも
失われる可能性

日 時 : 2026年11月6日(金) 18:00開始 (受付 17:30~)

会 場 : EZOHUB SAPPORO

札幌市東区北8条東4丁目1-20 サツドラホールディングス株式会社 本社2階

対 象 : 創業者、事業承継者、起業を考えている方、事業承継を予定・検討している方、
将来事業を承継する可能性のある方など

入 場 : 無料

登壇者(創業者)



株式会社MASSIVE SAPPORO
代表取締役 川村 健治

2004年不動産業界へ。シェアハウスを
機に創業し、民泊・無人ホテル運営や
不動産再生で地域課題を解決



株式会社クローバー
代表取締役 田中 雅世

札幌市を拠点に、保育園や病児保育、
児童発達支援、放課後等デイサービスな
ど、保育・福祉サービスを幅広く展開。

登壇者(事業承継者)



株式会社どんぐり
代表取締役社長 野尻 雅之

カナダ留学を経て2002年入社、2009
年社長就任。地域に愛される店づくり
を軸に、商品開発や地域連携で「わく
わく」を生む。



株式会社あいプラン
代表取締役 新道 いくみ

1930年創業のグループを率い、北海道を中
心に婚礼・葬祭、飲食、仏壇・仏具、介護
など幅広く展開。「つながり」に寄り添う企
業づくりを掲げる。



ファシリテーター
EO Hokkaido 5期会長
株式会社E-Grant 代表取締役
北川 健太郎

明治大学卒業後、株式会社オプトへ入社。子会社の立ち上げを経て創業し、EC・通販市場のCRM支援でトッ
プシェアを獲得。JCRMの普及に取り組む。

創業と事業承継、本当に大変なのはどっち？

創業者には、「信用も顧客もないゼロからのスタート」「資金、人材、組織を一からつくる苦勞」「自分自身が会社そのものになるプレッシャー」があります。一方、事業承継者には、「先代が築いた歴史やブランドを背負うプレッシャー」「既存社員や取引先との関係」「先代との考え方の違い」「守るべきものと変えるべきものの判断」「“先代の会社”から“自分たちの会社”へ変えていく難しさ」があります。ゼロからつくるのと、すでにあるものを受け継ぐのとでは、どちらが大変なのか。実際にその道を歩んできた経営者だからこそ語れるリアルを、忖度なしでぶつけ合います。

EO Hokkaidoについて

EO(Entrepreneurs' Organization／起業家機構)は、世界各国の起業家が学び合うグローバルなコミュニティです。本来EOは、創業者・起業家を中心とした組織です。一方で北海道には、親や先代から会社を受け継ぎながらも、単に既存事業を守るだけではなく、新規事業への挑戦、組織改革、事業転換などを行う、強い起業家精神を持った事業承継者が数多く存在します。

そこでEO Hokkaidoでは、北海道の地域性も踏まえ、創業者と事業承継者がともに学び、互いの経験を共有しています。創業者は「ゼロから1をつくる」、事業承継者は「受け継いだものを守りながら、次の時代の会社をつくる」、スタート地点は違っても、どちらにも「自らリスクを取り、会社の未来をつくる」という起業家精神があります。今回のイベントでは、そんな両者をあえて「VS」という形で向き合わせます。

メディアの皆様取材・撮影いただけること

- ・ 道内4社の経営者(創業者2名、事業承継者2名)による本音のトークセッション取材
- ・ 創業と承継を決断した転機や経営を変えた出来事、次世代の経営者に伝えたいこと
- ・ 登壇者への個別インタビュー
- ・ 起業や事業承継を考える参加者へのインタビュー など

取材のお申し込み・本プレスリリースに関するお問い合わせ

参加のお申し込みはこちら

一般社団法人 EO Hokkaido

広報担当 山田(080-1165-8033)

